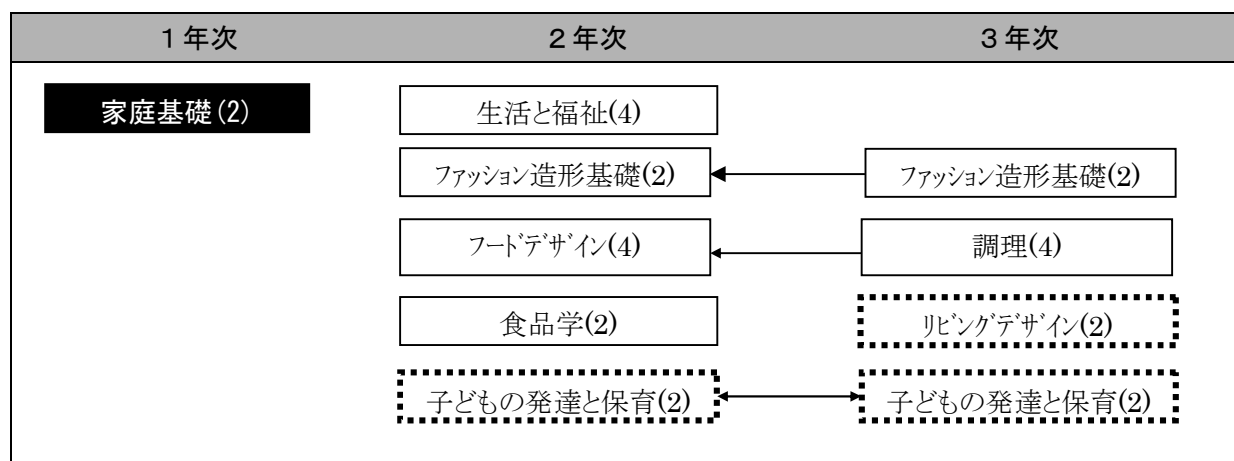


家庭



履修年次	1年	科目名	家庭基礎	単位数	2	科目の種類	必履修
履修対象	1年生全員						
学習内容	目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を学び、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。					
	内容	(1) 各ライフステージの特徴と課題、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉について学びます。 (2) 自立した生活を営むために必要な衣食住、消費生活や生活における経済の計画に関する基礎的・基本的な知識と技術について学びます。 (3) 各自の生活の中から課題を見だし、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践する問題解決的な学習をします。					
備考	実習費 1,500 円、エプロン・三角巾 1,575 円を学年費より徴収します。						

履修年次	2年	科目名	生活と福祉	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	・教養文化系列の生徒 ・家庭の看護や高齢者の介護、福祉に興味、関心、意欲のある人						
学習内容	目標	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を学び、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を身につける。					
	内容	(1) 健康の概念、ライフステージと健康管理、家庭看護の基礎について学びます。 (2) 高齢者の心身の特徴、自立生活支援の考え方、高齢者介護の基礎について学びます。 (3) 高齢化の進展と社会福祉、高齢者福祉の法規と制度、保健・医療・福祉サービスについて学びます。 (4) 調理、被服管理、住環境の整備などの生活援助や、基礎的な介護技術、レクリエーションについて学びます。					
備考	実習費として 500 円程度必要です。						

履修年次	2年	科目名	ファッション造形基礎	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・教養文化系列の生徒 ・被服製作に興味関心を持ち、意欲的に取り組める人 						
学習内容	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を学び、ファッション造形の基礎的な能力と態度を身につける。 ・家庭科技術検定被服製作4級、3級に合格する。 					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人体と被服、立体構成と平面構成について学びます。 (2) 被服材料の特徴と性能、用途に応じた被服材料の選択と取り扱いについて学びます。 (3) 洋服製作の基礎について学びます。 ・家庭科技術検定被服製作4級 基礎縫い ・家庭科技術検定被服製作3級 アウターパンツの製作 					
備考	検定料、実習費として 4,000 円程度必要です。						

履修年次	2年	科目名	フードデザイン	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒で、家庭科技術検定食物調理の受検を希望し、意欲のある人						
学習内容	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を学び、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身につける。 ・家庭科技術検定食物調理4級、3級に合格する。 					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 食を取り巻く現状、食事の意義と役割について学びます。 (2) 栄養、食品、料理形式と献立、調理、テーブルコーディネートについて学びます。 (3) 食事テーマの設定と献立作成、食品の選択と調理、テーブルコーディネートとサービスの基本的な考え方と方法について学びます。 (4) 食育の意義、家庭や地域における食育推進活動について学びます。 (5) 家庭科技術検定食物調理4級 (6) 家庭科技術検定食物調理3級 					
備考	検定料、実習費用として 4,500 円程度必要です。						

履修年次	2年	科目名	食品学	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	食品の調理性に興味があり、実験に意欲的に取り組める人						
学習内容	目標	食品の種類と調理性等について実験を通して体験的に学び、食品を適切に活用できる能力と態度を身につける。					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 食品の性質に関する実験 ・砂糖類 ・乳・乳製品 ・卵 ・穀物類 ・魚介類 ・肉類 ・豆類 ・野菜類 ・いも類 ・でん粉 ・果物類 ・油脂類 ・寒天・ゼラチン ・嗜好品 (2) 食品衛生に関する実験 ・食品添加物 					
備考	実験費用として 2,000 円程度必要です。						

履修年次	2年	科目名	子どもの発達と保育	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	保育に興味・関心・意欲のある人、および保育士を目指している人						
学習内容	目標	子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識と技術を学び、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身につける。					
		(1) 生涯発達における乳幼児期の意義、発達と環境、発達観・児童観の変遷について学びます。 (2) 身体発育と運動機能の発達、認知機能の発達、情緒の発達、人間関係の発達について学びます。 (3) 乳幼児の生活の特徴と養護について学びます。					
備考	実習費として、1,000円程度必要です。保育実習を予定しています。						

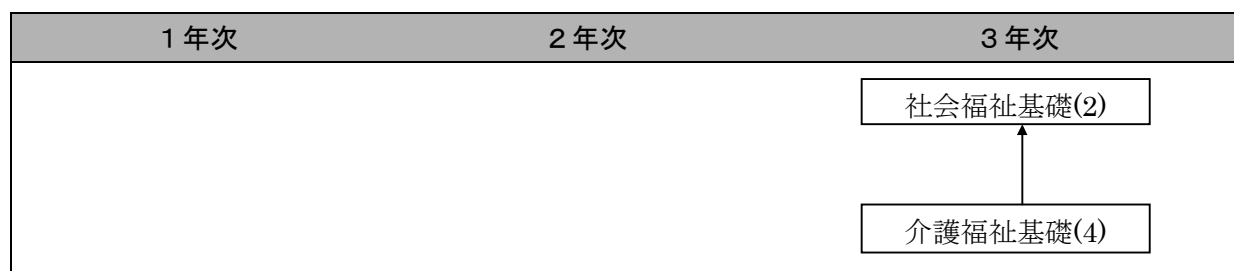
履修年次	3年	科目名	子どもの発達と保育	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	2年次に「子どもの発達と保育」を選択した生徒						
学習内容	目標	子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識と技術を学び、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身につける。					
		(1) 生活習慣の形成、乳幼児の健康管理と事故防止について学びます。 (2) 保育の意義と目標、保育の方法、保育の環境について学びます。 (3) 児童福祉の理念と関係法規・制度、子育て支援について学びます。					
備考	実習費として、1,000円程度必要です。保育実習を予定しています。						

履修年次	3年	科目名	リビングデザイン	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	住生活や住文化、インテリアデザインに興味・関心・意欲のある人						
学習内容	目標	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに関する知識と技術を学び、快適な住空間を計画し、デザインする能力と態度を身につける。					
		(1) 日本の住生活と文化、世界の住生活の文化について学びます。 (2) 住生活と住空間、住空間と構造と材料、住空間の環境と設備、住空間の平面計画について学びます。 (3) インテリアデザインの構成要素や表現技法について学び、適切な住空間のインテリアデザイン実習をします。 (4) 住生活と環境、住生活と福祉について学び、家族構成や状況の変化に応じた住空間のリフォーム計画実習をします。 (5) 住生活関連法規について学びます。					
備考	実習費として500円程度必要です。						

履修年次	3年	科目名	ファッション造形基礎	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・被服製作に興味を持ち意欲的に取り組める生徒や、被服関係の専門学校進学者 ・2年次に「ファッション造形基礎」を選択していること 						
学習内容	目標	被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を学び、ファッション造形の基礎的な能力と態度を身につける。					
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 人体と被服、立体構成と平面構成について学びます。 (2) 被服材料の特徴と性能、用途に応じた被服材料の選択と取扱いについて学びます。 (3) 和服の製作に関する理論、技術について学びます。 ・家庭科技術検定被服製作2級 大人用じんべいの製作 (4) 総合実習 <ul style="list-style-type: none"> ・個人またはグループでの作品製作 					
備考	検定料、実習費用として、3,000 円程度必要です。						

履修年次	3年	科目名	調理	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	2年次に「フードデザイン」を選択している生徒						
学習内容	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様式別調理に関する知識と技術を学び、健康の維持・増進に寄与する食生活の充実向上を図るとともに、創造的に調理する能力と態度を身につける。 ・家庭科技術検定食物調理2級に合格する。 					
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 調理の目的、食品の性質、調理の種類と基本操作について学びます。 (2) 調理用施設・設備、熱源及び調理機器の正しい取り扱いと管理について学びます。 (3) 献立作成の意義、栄養計算について学びます。 (4) 日本料理、西洋料理、中国料理、その他の料理について学びます。 (5) 日常食、行事食、供応食、病気時の食事、幼児と高齢者の食事について学びます。 (6) 家庭科技術検定食物調理2級 (7) 家庭科技術検定食物調理1級(希望者のみ) 					
備考	検定料、実習費用として 4,500 円程度必要です。						

福祉



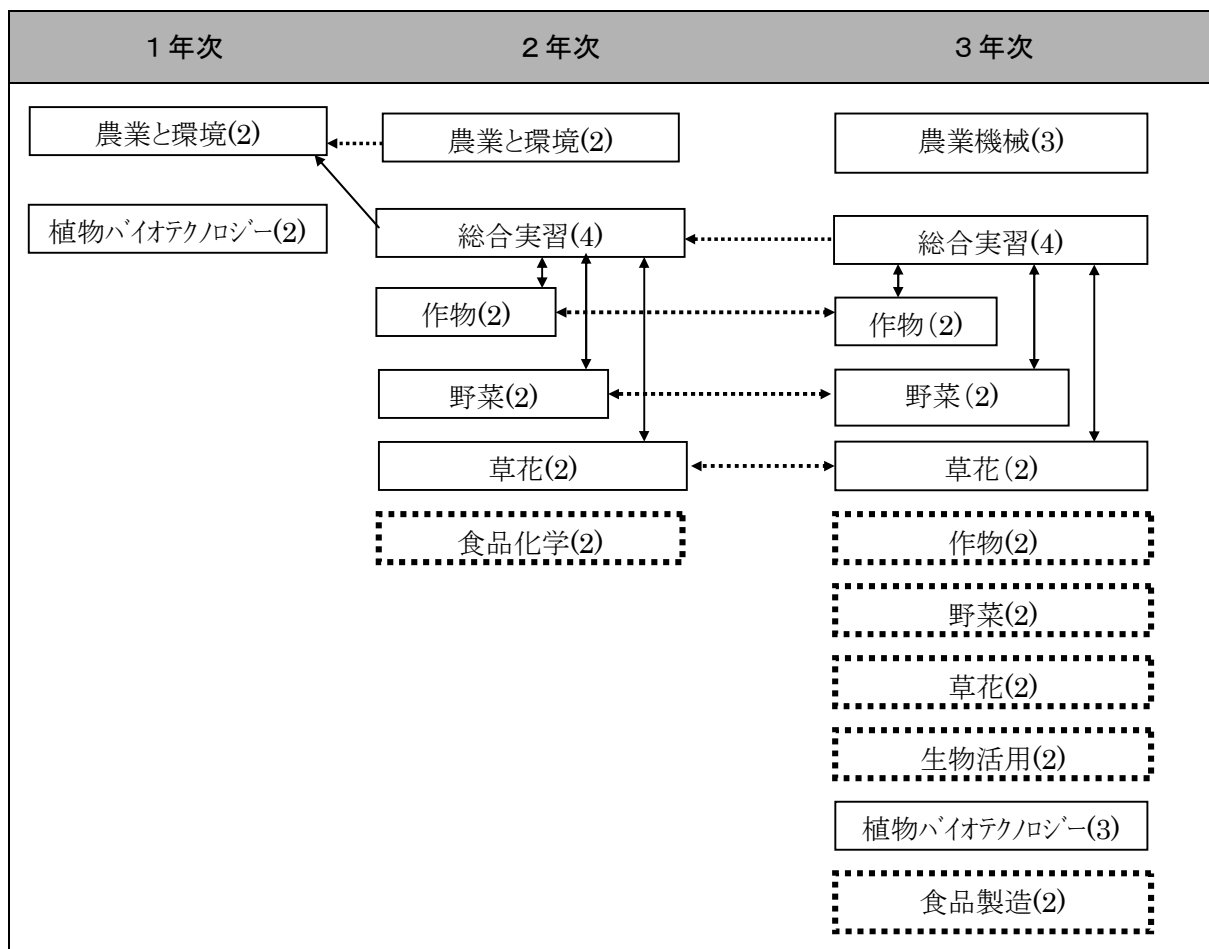
履修年次	3年	科目名	社会福祉基礎	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	福祉に興味・関心・意欲のある人、および福祉系の進学を希望する人						
学習内容	目標	社会福祉に関する基礎的な知識を学び、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解し、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力を育てる。					
	内容	(1) 生活と福祉、社会福祉の理念、人間の尊厳と自立について学びます。 (2) 人間関係の形成、コミュニケーションの基礎、社会福祉援助活動の概要について学びます。 (3) 外国における社会福祉、日本における社会福祉、地域福祉の進展について学びます。 (4) 生活を支える社会保障制度について学びます。					
備考	2年次に「生活と福祉」を履修しておくこと。						

履修年次	3年	科目名	介護福祉基礎	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	福祉に興味・関心・意欲のある人、および福祉系の進学を希望する人						
学習内容	目標	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力を身につける。					
	内容	(1) 尊厳を支える介護、自立に向けた介護について学びます。 (2) 介護従事者を取り巻く状況、介護従事者の役割、介護従事者の倫理、介護における連携について学びます。 (3) 介護を必要とする人と生活環境、高齢者の生活と介護、障害者の生活と介護、介護福祉サービスの概要について学びます。 (4) 介護における安全確保と事故対策、感染対策、介護従事者の健康管理について学びます。					
備考	「社会福祉基礎」を同時に選択することが望ましい。実習費として、1,000 円程度必要です。						

情報

履修年次	1年	科目名	情報の科学	単位数	2	科目の種類	必履修
履修対象	1年生全員						
学 習 内 容	目 標	情報や情報機器を活用するための知識と技能の習得を通して、社会における情報の役割やその科学的な見方や考え方を養い、情報化の進展に主体的に対応できるようにする。					
		(1) 教科の枠にとらわれずに、様々なテーマについて情報を収集、整理し、発表します。 (2) 収集した情報について、その性質や特性を考慮した扱い方を学びます。 (3) 日常生活をはじめとして、社会において情報や情報機器が果たす役割を考察します。 (4) 情報機器の扱い方を学びます。					
備考							

農業



履修年次	1年	科目名	農業と環境	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒と教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	農業作物の育成と環境の保全についての基本的な知識と技術を習得し、安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。					
	(1) 暮らしと農業 農業の社会的な役割と環境・暮らしの関わりについて学習する。 (2) 農業生産の基礎 農業生物の生産を通して、農業生物の栽培と栽培環境について学習する。 (3) 農業学習と農業クラブ活動 農業生物の育成や環境の保全などの農業学習の特質、学校農業クラブ活動について学習する。						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 農業科学系列の生徒は、2年次の「農業と環境」を継続することが望ましい。 実習服が必要。 						

履修年次	1年	科目名	植物バイオテクノロジー	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得し、植物体の特性とバイオテクノロジーの特質を理解し、農業の各分野で応用する能力と態度を育てる。					
	(1) バイオテクノロジーの意義と役割	具体的な事例を通して、バイオテクノロジーが生物の持つ成長、繁殖、遺伝等の機能を人間生活に役立てる生物利用技術であることを学習する。					
	(2) 植物の構造と機能	植物の組織・細胞、遺伝子及び植物ホルモンの作用について学習する。					
	(3) 無菌操作の基本	器具の殺菌など無菌的条件の設定、無菌培養の基本操作及び機器と薬品の取扱いについて学習する。					
備考	(4) 植物の増殖能力の利用	植物の増殖能力、分化全能性を利用する組織培養技術について学習する。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 白衣は学校で準備する。 ・ 無菌操作の習得やバイオ温室の管理など基礎的知識・技術を主として学習します。 					

履修年次	2年	科目名	作物	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	作物の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、作物の特性と栽培に適した環境の理解、および品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。					
	(1) 作物生産の役割と動向	作物の生産から消費までの食料供給のしくみを学習する。					
	(2) 作物の特性と栽培技術	作物の種類による特性と栽培環境を学習する。					
	(3) 作物生産の生産と実践	作物生産に関する栽培管理を体験する。					
備考	(4) 作物経営の改善	作物に関する生産活動及び経営について学習する。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次「総合実習(4)」を必ず履修すること。 ・ 実習服が必要。 					

履修年次	2年	科目名	野菜	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や栽培に適した環境を理解し、生産から加工・流通を含めた経営能力を育てる。					
		<p>(1) 野菜生産の役割と動向 野菜の種類と利用、生産について学習する。</p> <p>(2) 野菜の特性と栽培技術 野菜の生育過程における生理的特性について学習する。</p> <p>(3) 野菜の生産 野菜の栽培的・経営的特性と品種の特性について理解し、作型と品種の選定など栽培計画に必要な知識と技術を学習する。</p> <p>(4) 野菜経営の改善 これまでの学習を基に、生産費と流通の手段や経費、農業生産工程管理など生産と経営の基礎を学習する。</p>					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次「総合実習(4)」を必ず履修すること。 ・ 実習服が必要。 						

履修年次	2年	科目名	草花	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	草花栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、草花の特性や栽培に適した環境を理解し、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。					
		<p>(1) 草花生産の役割と動向 具体的な事例を通して、我が国の草花の生産と利用、草花の需給の動向などについて学習する。</p> <p>(2) 草花の種類と特徴 植物の分類法や園芸的分類に基づく草花の特徴などについて学習する。</p> <p>(3) 草花の特性と栽培技術 草花に共通する生理・生態的な特性と栽培環境に関する知識及び開花調節など商品価値を高めるために必要な技術を学習する。</p> <p>(4) 草花の生産 地域農業の実態に応じて選定した主要な草花の生産と経営について、実践的、継続的に学習する。</p>					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次「総合実習(4)」を必ず履修すること。 ・ 実習服が必要。 						

履修年次	2年	科目名	農業と環境	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	地域の植生・水質・土壌などの観察や調査等を通して、環境要因や環境調査、自然の生態系に配慮して国土環境の保全や景観の創造に関する基礎的な知識と技術を習得し、環境に関する科学的な見方と実践力を身につける。					
		<p>(1) 環境の調査 植生調査・水質調査など地域環境について学習する。</p> <p>(2) 環境の保全 森林の持つ国土保全機能、生物・生態系保全機能、アメニティ保全機能や大気浄化について学習する。</p> <p>(3) 環境の創造 都市緑地や農村における景観の創造について学習する。</p> <p>(4) 農業学習と学校農業クラブ活動 栽培・飼育と環境の保全に関する実際の・体験的な学習を通して農業及び環境に関する学習やプロジェクト学習の進め方について学習する。</p>					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次の「農業と環境」を継続することが望ましい。 ・ 実習服が必要。 						

履修年次	2年	科目名	食品化学	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	農業系大学進学希望者、食品加工・食品製造に興味のある人						
学習内容	目標	身近な食材の分析、検査を通じて、食品の成分と栄養を理解し、食品製造及び農業の各分野で応用する能力を身につける。					
		<p>(1) 食品化学の役割 具体的な事例を通して、成分分析や衛生検査の必要性を学習する。</p> <p>(2) 食品の成分 主な食品の成分の分類と性質に関する基本的な知識を学習し、加工や貯蔵の過程における成分変化について理解する。</p> <p>(3) 食品の成分分析 食品や原材料の成分分析に関する実験・実習を通して、主な分析方法の原理について学習する。</p> <p>(4) 食品の衛生検査 食品と原材料の衛生検査に関する実験・実習を通して、異物、細菌、水質及び食品添加物の検査に必要な知識と技術を養う。</p>					
備考	化学的な内容が多い科目である。						

履修年次	2年	科目名	総合実習	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身につけ、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。					
		(1) 農業の各分野に関する体験学習(実習) (2) 職業資格に関する学習 (3) 学校農業クラブ活動					
備考	<ul style="list-style-type: none"> 1年次「農業と環境」を履修するか、2年次「農業と環境」を履修することが望ましい。 2年次「作物(2)」「野菜(2)」「草花(2)」を必ず履修すること。 						

履修年次	3年	科目名	総合実習	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身につけ、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。					
		(1) 農業の各分野に関する専攻学習(実習) (2) 職業資格に関する学習 (3) 学校農業クラブ活動					
備考	<ul style="list-style-type: none"> 2年次「総合実習(4)」「作物(2)」「野菜(2)」「草花(2)」を必ず履修すること。 3年次総合選択科目「作物(2)」「野菜(2)」「草花(2)」を必ず履修すること。 						

履修年次	3年	科目名	作物	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	作物の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、作物の特性と栽培に適した環境の理解、および品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。					
		(1) 水稲生産の役割と動向 水稲の生産から消費までの食料供給のしくみを学習する。 (2) 水稲の特性と栽培技術 水稲の種類による特性と栽培環境を学習する。 (3) 水稲生産の生産と実践 水稲生産に関する栽培管理を体験する。 (4) 水稲生産の改善 作物に関する生産活動及び経営について学習する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> 作物栽培を主として行い、作物の基礎的な知識・技術について学ぶ。 2年次「作物(2)」との継続履修が望ましい。3年次「総合実習(4)」を必ず履修すること。 実習服が必要。 						

履修年次	3年	科目名	作物	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	農業に興味がある人。						
学習内容	目標	作物の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、作物の特性と栽培に適した環境の理解、および品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。					
		(1) 作物生産の役割と動向 作物の生産から消費までの食料供給のしくみを学習する。 (2) 作物の特性と栽培技術 作物の種類による特性と栽培環境を学習する。 (3) 作物生産の生産と実践 作物生産に関する栽培管理を体験する。 (4) 作物経営の改善 作物に関する生産活動及び経営について学習する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> 作物栽培を主として行い、作物に関する基礎的な知識・技術について学ぶ。 2年次に「作物」を選択していない生徒対象。 実習服が必要。 						

履修年次	3年	科目名	野菜	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や栽培に適した環境を理解し、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。					
		(1) 野菜の生育特性 野菜の生育過程と生育過程における生理的特性について学習する。 (2) 野菜の育苗 育苗方法や管理について学習する。 (3) 野菜の栽培環境 野菜栽培における環境要因とその調節について学習する。 (4) プロジェクト学習(砂丘地における野菜栽培) 野菜に関連したテーマを各自で設定し、研究する。 (5) 野菜の流通と経営改善 野菜の流通のしくみや生産の経営改善について学習する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの野菜を題材とし、野菜に関する基礎的な知識・技術について学ぶ。 2年次「野菜」との継続履修が望ましい。 実習服が必要。 						

履修年次	3年	科目名	野菜	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	農業に興味のある人						
学習内容	目標	野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や栽培に適した環境を理解し、生産から加工・流通を含めた経営能力を育てる。					
	(1) 野菜生産の役割と動向 野菜の種類と利用、生産について学習する。						(2) 野菜の特性と栽培技術 野菜の生育過程における生理的特性について学習する。
	(3) 野菜の生産 野菜の栽培的・経営的特性と品種の特性について理解し、作型と品種の選定など栽培計画に必要な知識と技術を学習する。						(4) 野菜経営の改善 これまでの学習を基に、生産費と流通の手段や経費、農業生産工程管理など生産と経営の基礎を学習する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> 栽培体験を主として行い、野菜に関する基礎的な知識・技術について学ぶ。 実習服が必要。 						

履修年次	3年	科目名	草花	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列の生徒						
学習内容	目標	草花栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、草花の特性や栽培に適した環境を理解し、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。					
	(1) 草花の生産 草花の栽培管理など基本的な知識と技術を習得させ、草花栽培に関する科学的な見方と課題解決的な実践力を育成する。						(2) 草花経営の改善 草花生産の経営改善を図るために、これまでの学習を基に、生産、流通と作業体系を改善する能力と態度を養う。
	(3) 草花生産の実践 草花の生産と経営の改善に関する課題の解決に主体的、意欲的に取り組む能力と態度を養う。						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 2年次の「草花」との継続履修が望ましい。 実習服が必要。 						

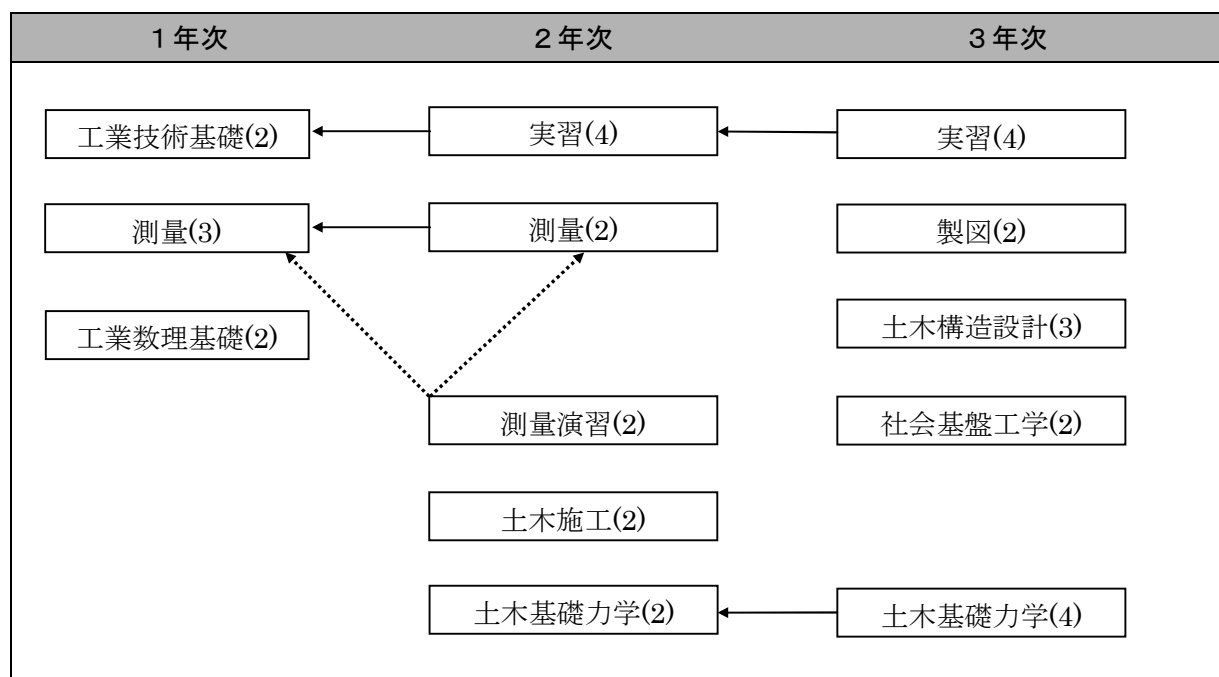
履修年次	3年	科目名	草花	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	農業に興味のある人、ガーデニングに興味のある人						
学習内容	目標	草花栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、草花の特性や栽培に適した環境を理解し、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。					
	(1) 草花生産の役割と動向	具体的な事例を通して、我が国の草花の生産と利用、草花の需給の動向などについて学習する。					
	(2) 草花の種類と特徴	植物の分類法や園芸的分類に基づく草花の特徴などについて理解する。					
	(3) 草花の栽培管理	栽培管理において、生育状況と環境条件を観察・記録して、その後の生育を予測するなどの能力を育成する。					
	(4) 商品化	品質の向上や消費者ニーズに配慮した付加価値を高める商品化を図る能力を育成する。					
備考	実習服が必要。						

履修年次	3年	科目名	植物バイオテクノロジー	単位数	3	科目の種類	総合選択
履修対象	農業系大学進学希望者、植物を対象とした実験実習に興味がある人						
学習内容	目標	植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得し、植物体の特性とバイオテクノロジーの特質を理解し、農業の各分野で応用する能力と態度を育てる					
	(1) 植物の増殖能力の利用	植物の増殖能力、分化全能性を利用する組織培養技術について学習する。					
	(2) 植物の遺伝情報の利用	植物の遺伝情報を利用する遺伝子組換え技術などについて学習し、その安全性を追求する知識・態度を育てる。					
	(3) 植物バイオテクノロジーの展望	バイオテクノロジーの動向と可能性に関する基礎的な知識を学習する。					
	(4) 植物バイオテクノロジーの実践	植物バイオテクノロジー技術を活用した課題の解決に主体的・意欲的に取り組む能力と態度を育てる。					
備考	白衣は学校で準備する。植物や微生物を題材として、自ら課題を設定し、研究を進める。						

履修年次	3年	科目名	食品製造	単位数	2	科目の種類	自由選択	
履修対象	農業系大学進学希望者、農業自営・研修及び農業に興味のある人							
学 習 内 容	目 標	食品製造に必要な知識と技術を習得し、食品の特性と加工の原理を理解し、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。						
		(1) 食品製造の意義と動向	(2) 食品加工の原理と方法	(3) 食品の特性と加工(ジャム、梅干、ベーコン、漬物等)	(4) 加工食品と衛生管理	(5) 食品の変質と貯蔵	(6) 機械と装置の利用	(7) 生産管理の改善
備考	材料費として 2,000 円程度必要。							

履修年次	3年	科目名	農業機械	単位数	3	科目の種類	総合選択
履修対象	農業系大学進学希望者、農業自営・研修及び農業に興味のある人						
学 習 内 容	目 標	農業機械の取り扱いと維持管理に必要な知識と技術を習得し、機械の構造と作業上の特性を理解し、農業機械の効率的な利用を図る能力と態度を育てる。					
		(1) 農業機械の役割 農業機械の特徴、種類とその利用について学習する。	(2) 農業機械の操作(トラクタ・刈払機等) 農業機械の基本運転と操作について学習する。	(3) 農業機械の構造と整備 内燃機関と作業機の構造を理解し、点検・整備について学習する。	(4) 農業生産と農業機械の利用 作業効率と農業機械の選択について学習する。		
備考	実習服が必要。						

工業（土木）



履修年次	1年	科目名	工業技術基礎	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	土木に関する基礎的技術を実習によって体験させ、土木における技術への興味・関心を高め、土木技術の発展を図る意欲的な態度を養う。					
		(1) 距離測量～巻尺・帯尺及びポールなどを用いて、測点間距離の測定法を学ぶ。 (2) 平板測量～平板測量用器具の扱い方に慣れ、平面図の作成について学ぶ。 (3) 水準測量～レベルの扱い方に慣れ、野帳の記入方法や標高計算について学ぶ。 (4) 計算技術～電卓の扱い方に慣れ、検定試験(3・4級)の合格を目指す。 (5) トラバース測量～セオドライトを使用した測角技術を身につけ、トラバース(多角)測量の方法について学ぶ。					
備考	電卓 5,000 円程度。実習服 7,000 円程度。「測量」といっしょに選択すると理解が深まる。						

履修年次	1年	科目名	工業数理基礎	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	工業事象に関する基礎的・基本的知識・技術を習得することにより、工業分野への興味・関心を高め、工業技術への意欲的な態度を養う。					
		(1) 基礎的な数理～面積・体積、身近な工業事象、高さと三角比 等 (2) 単位と数値処理～国際単位系、組立単位の換算 (3) 乗り物の数理～速さと速度、電車の走行と円運動、自転車の走行、動力の伝達					
備考							

履修年次	1年	科目名	測量	単位数	3	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	土木測量に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を養う。					
		(1) 距離測量～2点間の水平距離を測定する方法と技術について学ぶ。 (2) 角測量～角度を測る器械を使って水平角や鉛直角を測定する方法と技術について学ぶ。 (3) トラバース測量～測点を結んでできた多角形の各辺の長さや角度を順次測定していく方法を学び、そのデータを生かした内業について理解する。 (4) 平板測量～平板測器を用いて野外で直接図面を描いていく方法と技術を学ぶ。 (5) 水準測量～地表面上の高低差を測定する方法と技術を学ぶ。 (6) 測量の誤差～誤差の種類や処理の仕方について学ぶ。 (7) 面積および体積～データを用いる場合や図上で求める方法について学ぶ。 (8) 基準点測量～基準点を設置する場合の測量・新しい測量技術について学ぶ。					
備考	電卓 5,000 円程度。「工業技術基礎(土木)」と併せて選択すると理解が深まる。						

履修年次	2年	科目名	測量	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	土木測量に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を養う。					
		(1) 地形測量～地形図(平面図)を作成するための測量について学ぶ。 (2) 路線測量～道路などの通路や用水路などの水路をつくる測量について学ぶ。 (3) 河川測量～治水工事や利水工事などのために行う測量について学ぶ。 (4) 写真測量～写真を用いた測量について学ぶ。					
備考							

履修年次	2年	科目名	土木基礎力学	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	土木構造物や土の基礎力学に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を養う。					
		土木構造物の基礎 ① 土木構造物と力～土木構造物の種類、土木構造物に作用する力及び鋼とコンクリートの材料の基本的な性質について学ぶ。 ② 静定構造物の計算～単純ばり、片持ばり、短柱及び長柱について、軸方向力、せん断力及び曲げモーメントの基本的な計算方法を学ぶ。 ③ 材料と部材の設計～材料の強さ、部材断面の性質、はりの応力とたわみ及び断面形状の基本的な計算方法を学ぶ。					
備考							

履修年次	2年	科目名	土木施工	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	土木施工と管理に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を養う。					
	(1) 土木材料	<ul style="list-style-type: none"> ① 土木材料の基礎 ② 土木材料の性質と利用 土木工事に用いられる基本的な材料について学ぶ ③ 土木材料としての土の利用 土木材料としての土の利用や土の改良などについて学ぶ。 					
学習内容	(2) 施工技術	<ul style="list-style-type: none"> ① 土工 ② コンクリート工 土木工事の基礎的な工事について学ぶ。 ③ 基礎工 ④ 舗装工 土木構造物の基礎、杭基礎などの基礎工及び基礎掘削における土留め工法について学ぶ。 ⑤ トンネル工 トンネル工の基礎的な内容及び下水道などの地下埋設物工事における圧入工法について学ぶ。 					
	(3) 土木工事管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 工事管理の計画 ② 工程管理と品質管理 施工計画、工事の管理と組織について学ぶ。 ③ その他の管理 原価管理、安全管理について学ぶ。 					
学習内容	(4) 工事用機械と電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ① 工事用機械 ② 工事用電気設備 各種工事に必要な基本的な土工用機械について学ぶ。 					
	(5) 土木施工に関する法規	土木施工の法規の概要について学ぶ。					
備考							

履修年次	2年	科目名	測量演習	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	測量に関する知識と技術を学び、「測量士補国家試験」に対応できる能力と態度を養う。					
	内容	1. 測量法と測量の基準 2. 多角測量 3. 水準測量 4. 地形測量 5. 写真測量 6. 地図編集 7. 応用測量 1, 2年で学んだ「測量」の内容について「測量士補国家試験」に出題された過去問を中心に演習をして、実力アップを図る。					
備考	「測量士補図解問題解説集(市ヶ谷出版社)」(3,000円程度)をテキストに使用する。						

履修年次	2年	科目名	実習	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	セオドライト、レベル、平板などの測量器械を自由に操作できるようにし、測定した数値から正しく計算できる技術と能力を養う。					
	内容	(1) トラバース測量 セオドライトを正しく取り扱い、野帳の記入の仕方や計算方法、図面作成について学ぶ。 (2) 平板測量(細部測量) トラバース測量で完成した骨組の細かい部分を正確に測量できるようにする。 (3) 曲線設置 正確にカーブを設置できるように測量することを学ぶ。 (4) 縦横断測量 レベルを正しく取り扱い、基本的な路線設置ができるように、また図面作成についても学ぶ。					
備考	「工業技術基礎(土木)」からの継続内容である。						

履修年次	3年	科目名	実習	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	測量実習はもちろん、施工実習や基礎的な実験なども取り入れ、土木の専門分野における総合的な技術と能力を養う。					
	内容	(1) 基準点測量 三角測量を通じてセオドライトの取り扱いに習熟し、計算方法についても学ぶ。 (2) 土木施工実習 コンクリート施工を中心に建設施工を実際に体験する。 (3) 土木実験 土木材料、土質、コンクリートの基礎的な実験を行う。					
備考	2年の「実習(土木)」からの継続内容である。						

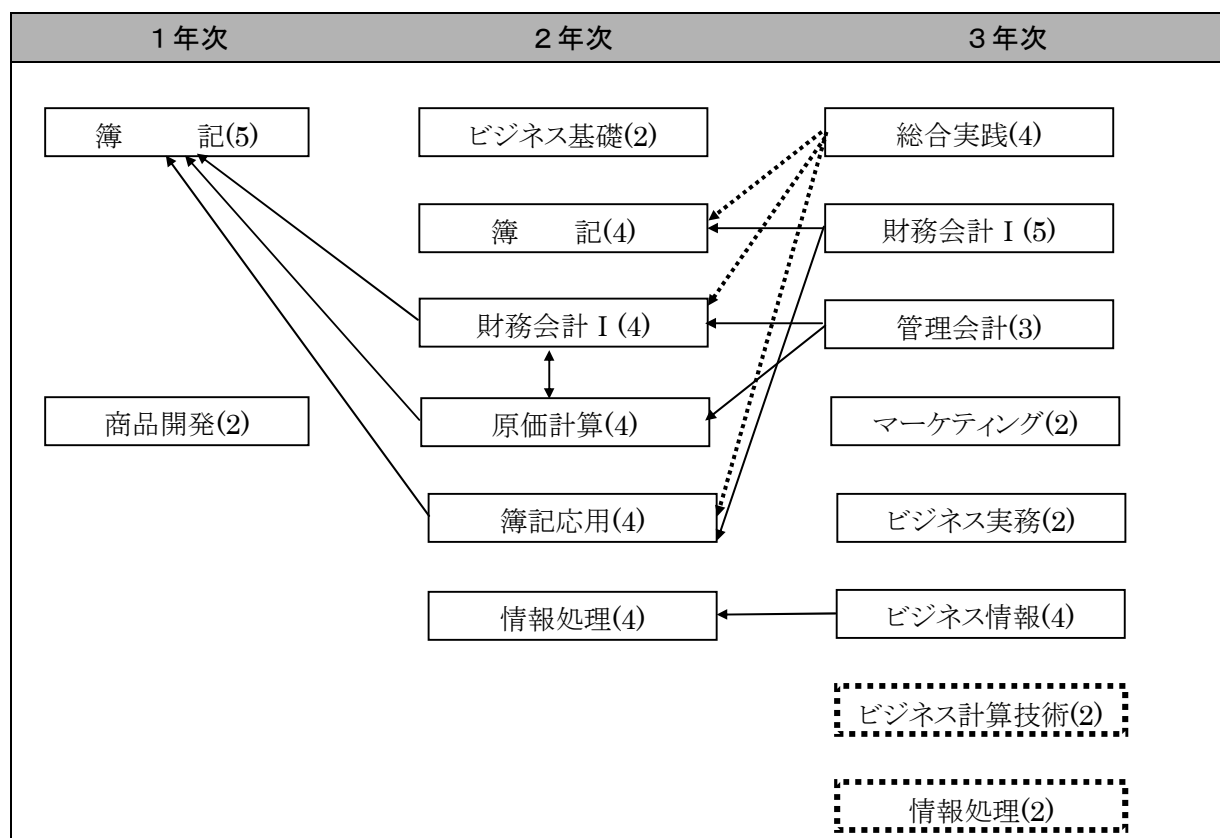
履修年次	3年	科目名	土木構造設計	単位数	3	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	土木構造物の設計に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を養う。					
		(1) 鋼構造の設計 ① 構造の設計の基本～設計の目的、順序、設計方法などの基本的な事項について学ぶ。 ② Hビームの設計～H形鋼を用いたけたの応力計算や断面の設計方法について学ぶ。 ③ プレートガーターの設計～プレートガーターを用いたけたの応力計算や断面の設計方法について学ぶ。 (2) 鉄筋コンクリート構造物の設計 ① 鉄筋コンクリート構造物の設計の基本～土木構造物の使用材料である鉄筋コンクリートの性質と設計上の基準などについて学ぶ。 ② はり構造の設計～単鉄筋長方形ばりの設計計算などについて学ぶ。					
備考							

履修年次	3年	科目名	土木基礎力学	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	土質と水理に関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を養う。					
		水理学の基礎 (1) 静水の性質～静水圧を中心に学ぶ。 (2) 水の流れの性質と測定～ベルヌーイの定理を中心に学ぶ。 (3) 水路の計算～管水路と開水路の基礎的なことについて学ぶ。 (4) 流れの波の力～水の流れにより物体の受ける力及び波の作用について学ぶ。 土質力学の基礎 (1) 土の基本性質と調査及び試験～土の状態の表し方、土の分類、土の締固め、調査と試験などについて土木で扱う土についての基本的な考え方や方法について学ぶ。 (2) 土中の水の流れ～土の透水性、毛管現象、土の凍上などについて理解し、基本的な計算方法について学ぶ。 (3) 地中応力と土の圧密～地中応力の計算方法や圧密沈下、圧密試験、圧密沈下量の計算方法など基本的な事柄について学ぶ。 (4) 土の強さ～地盤の支持力や斜面の安定にかかわる土のせん断強さについて学ぶ。 (5) 土圧～壁体に作用する土圧の計算式を用いた基本的な計算方法について学ぶ。					
備考							

履修年次	3年	科目名	社会基盤工学	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	社会基盤整備に関する基礎的な知識を習得し、自然環境との調和を図り、実際に活用する能力と態度を養う。					
		(1) 社会基盤整備の概要 ① 土木の歴史～土木に関する技術史を学ぶ。土木構造物と人間の関わり及び土木が産業や経済の発展に果たした役割などを学ぶ。 ② 社会資本と社会基盤の整備～経済や産業の基盤整備と土木工事とのかかわりについて学ぶ。 ③ 災害と国土の整備～防災のための国土の整備について学ぶ。 ④ エネルギーの整備～電力やガスなどのエネルギー資源の活用について学ぶ。 (2) 交通と運輸 ① 道路～道路の構造、施工及び維持管理の基本的な事項について学ぶ。 ② 鉄道～鉄道建設及び路線の規格と構造の基本的な事項について学ぶ。 ③ 港湾～港湾の計画や管理及び港湾施設の基本的な事項について学ぶ。 ④ 空港～空港の計画や施設の基本的な事項について学ぶ。 (3) 治水と利水 ① 治水～河川の改修と海岸の保護、治山・砂防及び土木構造物の機能と計画について学ぶ。 ② 利水～水資源の開発及び上下水道の基本的な事項について学ぶ。					
備考							

履修年次	3年	科目名	製図	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	土木系列の生徒						
学習内容	目標	製図に関する日本工業規格及び土木製図について基礎的な知識と技術を身につけ、製図設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を養う。					
		(1) 製図の基礎と規約 製図用具の正しい使い方、線・文字・投影図の正しい書き方、製図の規約などを学ぶ。 (2) 図面の作り方と表現 投影図などで立体感を出す投影法、および現実感や質感を持たせる彩色などの図面の表現方法を学び、構造物の写図および読図などの土木製図の基本を習得する。					
備考							

商業



履修年次	1年	科目名	簿記	単位数	5	科目の種類	総合選択
履修対象	ビジネス会計系列の生徒						
学習内容	目標	企業において日常発生する取引を記帳する知識と技術を習得し、各種簿記検定3, 2級の取得を目指す。					
		(1) 簿記の意味・目的・歴史について	(2) 資産・負債・資本と貸借対照表について	(3) 収益・費用と損益計算書について	(4) 各種取引の処理<その1>について	(5) 決算の手続き<その1>について	(6) 帳簿組織<その1>について
		(7) 各種取引の処理<その2>について	(8) 決算の手続き<その2>について	(9) 帳簿組織<その2>について			
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	1年	科目名	商品開発	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目 標	商品開発に関する知識と技術を習得し、顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を身につける。					
		(1) 商品と商品開発	(2) 商品の企画	(3) 商品開発	(4) 商品開発とデザイン	(5) 商品開発と知的財産権	(6) 商品流通
備考							

履修年次	2年	科目名	簿 記	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	2年次からビジネス会計系列で学習したいと希望している生徒						
学習内容	目 標	企業における取引を記帳する知識と技術を習得し、簿記検定3級合格を目指す。また、簿記の学習を通しビジネスの諸活動について理解を深める。					
		(1) 簿記の意味・歴史について	(2) 資産・負債・資本と貸借対照表について	(3) 収益・費用と損益計算書について	(4) 各種取引の処理<その1>について	(5) 決算の手続き<その1>について	(6) 帳簿組織<その1>について
	※全商簿記検定3級の演習問題の反復						
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	2年	科目名	簿記応用	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に簿記を履修したが、簿記検定3, 2級を取得することができず、再度、簿記検定3, 2級の取得を目指す生徒 ・専門学校への進学または就職を希望している生徒 						
学習内容	目 標	企業において日常発生する取引を記帳する知識と技術を習得し、全商簿記検定2級合格を目指す。製造業における原価計算及び簿記に関する基本的な知識と技術を習得し、原価について理解するとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身につける。					
		(1) 決算(その2)	(2) 手形取引の記帳	(3) 特殊な手形取引の記帳	(4) その他の債券・債務の記帳	(5) 有価証券の記帳	(6) 特殊な売買取引の記帳
		(7) 本支店会計	(8) 3伝票制と5伝票制	(9) 複合仕訳帳制による記帳			
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	2年	科目名	財務会計Ⅰ	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	<p>・1年次に簿記を履修し、4年制大学(経済・経営・商学関係)への進学を希望している生徒や金融機関への就職を希望している生徒</p> <p>・全商簿記検定1級や日商簿記検定2級の資格取得を目指している生徒</p>						
学習内容	目標	<p>企業会計の役割や制度及び財務諸表の作成に関する知識と技術を習得し、財務諸表の意味や役割を理解するとともに財務諸表から得られる情報を活用する能力と態度を身につける。</p>					
		<p>(1) 企業会計、株式会社の会計、会計法規と企業会計制度について</p> <p>(2) 資産、負債と資本、貸借対照表の作成について</p> <p>(3) 損益計算書の意味と基準、経常損益と特別損益、損益計算書の作成について</p> <p>(4) 財務諸表の意味、財務諸表の見方、連結財務諸表について</p>					
備考	<p>検定料と問題集代金が必要となる。「原価計算」と同時に選択すること。</p>						

履修年次	2年	科目名	原価計算	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	<p>・1年次に簿記を履修し、4年制大学(経済・経営・商学関係)への進学を考えている生徒や金融機関への就職を希望している生徒</p> <p>・全商簿記検定1級や日商簿記検定2級の資格取得を目指している生徒</p>						
学習内容	目標	<p>製造業における原価計算及び簿記に関する基本的な知識と技術を習得し、原価について理解するとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に付ける。</p>					
		<p>(1) 原価と原価計算、製造業における簿記の特色としくみについて</p> <p>(2) 材料費・労務費・経費の計算と記帳について</p> <p>(3) 個別原価計算、部門別原価計算、総合原価計算について</p> <p>(4) 製品の完成と販売、製造業の決算について</p> <p>(5) 原価管理と標準原価計算、利益計画と直接原価計算について</p>					
備考	<p>検定料と問題集代金が必要となる。「財務会計Ⅰ」と同時に選択すること。</p>						

履修年次	2年	科目名	ビジネス基礎	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	<p>ビジネス会計系列の生徒</p>						
学習内容	目標	<p>経済の仕組みにおける、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、ビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度を身に付ける。また、全商商業経済検定2級または1級の合格を目指す。</p>					
		<p>(1) 商業の学習ガイダンス</p> <p>(2) 経済生活とビジネスについて</p> <p>(3) ビジネスと流通活動について</p> <p>(4) ビジネスと売買取引について</p> <p>(5) 外国人とのコミュニケーションについて</p>					
備考	<p>ビジネスに関するガイダンス科目である。検定料と問題集代金が必要となる。</p>						

履修年次	2年	科目名	情報処理	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	ビジネス会計系列の生徒						
学習内容	目標	情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得し、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について理解するとともに、情報を適切に収集・処理し活用する能力と態度を身に付ける。					
	内容	(1) ビジネスと情報処理について (2) 表計算ソフトウェア活用の基礎について (3) ビジネス計算と表の作成について (4) データベースソフトウェア活用の基礎について (5) ビジネスと情報通信ネットワークについて					
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	3年	科目名	情報処理	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	ワープロ・情報処理検定の資格取得を目指すビジネス会計系列以外の生徒						
学習内容	目標	情報機器の活用に関する知識と技術を習得し、その向上を目指す。					
	内容	文書の作成・表計算等について					
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	3年	科目名	ビジネス情報	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	ビジネス会計系列の生徒						
学習内容	目標	ビジネスに関する情報を適切に管理し、分析・活用する知識と技術を習得し、コンピュータを活用することの重要性や業務を積極的に合理化・自動化する能力と態度を身に付ける。					
	内容	(1) ビジネスと情報化の推進について (2) 表計算ソフトウェアの活用について (3) データベースソフトウェアの活用について (4) ビジネス情報の分析と活用について (5) ビジネス情報システム開発の基礎について (6) 情報処理機器の導入と管理について					
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	3年	科目名	総合実践	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	ビジネス会計系列の生徒						
学習内容	目標	ビジネスに関する知識と技術を、実践的・体験的な学習を通して総合的に身につける。					
	内容	(1) 同時同業法(日常の取引で扱われる文書の内容とその作成方法)について (2) 販売実習					
備考							

履修年次	3年	科目名	財務会計Ⅰ	単位数	5	科目の種類	総合選択
履修対象	2年次に「簿記(4)」または「簿記応用(4)」を履修している生徒						
学習内容	目標	企業における取引を記帳する知識と技術を習得し、全商簿記検定1級合格を目指す。また、簿記の学習を通してビジネスの諸活動について理解を深める。					
	内容	(1) 企業会計、株式会社の会計、会計法規と企業会計制度について (2) 資産、負債と資本、貸借対照表の作成について (3) 損益計算書の意味と基準、経常損益と特別損益、損益計算書の作成について (4) 財務諸表の意味、財務諸表の見方、連結財務諸表について					
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	3年	科目名	管理会計	単位数	3	科目の種類	総合選択
履修対象	2年次に「財務会計Ⅰ」と「原価計算」を履修している生徒。						
学習内容	目標	全商簿記検定1級と日商簿記検定2級の資格取得を目指す。					
	内容	(1) 製造業の財務諸表の意味・見方について (2) 企業会計の財務諸表から得られる情報とその活用について ※ 全商簿記検定1級の演習問題の反復 ※ 日商簿記検定2級の演習問題の反復					
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	3年	科目名	マーケティング	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	ビジネス会計系列の生徒						
学習内容	目標	マーケティングに関する知識と技術を習得し、マーケティングの意義や役割について理解するとともに、その活動を計画的・合理的に行う能力と態度を身につける。また、全商商業経済検定2級合格を目指す。					
	内容	(1) マーケティングに関する基礎的知識と企業やその他の組織が提供する商品について (2) マーケティングの重要性と計画的・合理的なマーケティング活動について (3) 商品やサービスを生産者から消費者まで円滑に流通させる一連の諸活動について					
備考	全商商業経済検定1・2級の資格を取得することができる。検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	3年	科目名	ビジネス実務	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	・ビジネス会計系列の生徒 ・全商珠算電卓検定の資格取得を目指す生徒						
学習内容	目標	珠算・電卓・商業文書・商業デザインの基礎的な知識と技術を習得し、商業技術の意義や役割について理解するとともに、ビジネスの諸活動に活用する能力と態度を身につける。					
		(1) ビジネスに必要とされる珠算・電卓・商業文書・商業デザインに関する基礎的な知識と技術について (2) 学習した技術のビジネス活動への活用について (3) 珠算・電卓等の資格取得について					
備考	検定料と問題集代金が必要となる。						

履修年次	3年	科目名	ビジネス計算技術	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	珠算・電卓検定の資格取得を目指す生徒						
学習内容	目標	珠算・電卓による計算技術の習得と向上を目指す。					
		珠算・電卓等の普通計算・応用計算・伝票算等について					
備考	能力に応じた級の資格取得が可能である。検定料と問題集代金が必要となる。						

総合

履修年次	3年	科目名	基礎教養	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	主として社会人に必要とされる知識を深め、能力を伸ばすとともに、一般社会において望ましい態度や姿勢を身につけます。					
	1. 就職対策演習 (1)非言語能力問題 (2)言語能力問題 2. 一般教養 (1)社会教養 (2)英語教養 3. 情報処理 (1)コンピュータ実技演習						など
備考	問題集 1,000 円程度を集金する予定です。						